

## 不登校ってその子のサポートだけでいいはずないよね!?

～ 対応のスキルの問題じゃなくて、我々の「まなざし」の問題が大きいんじゃない? ～

当協会は、NPO 法人 日本教育カウンセラー協会から 2015 年度に認可された支部組織です。

今年度、オンライン開催した総会での意見を基に、8 月に「こんなときだからこそ人間関係づくりに取り組まなくっちゃ!～短時間で接触の少ない実践を共有し、よりよい 2 学期のスタートを切ろう～」と題してオンライン学習会を開催し、盛会裏に終えることができました。

その第二回目として、不登校を取り上げようと企画しました。

今年度前半、学校は新型コロナウイルス対策に追われましたが、不登校に係る取り組みは、例年に比べてどうだったでしょう? これまで通りに丁寧に関わっている学校より、例年ほどには関わっていないという学校が多くはないでしょうか。

「色々今までに経験のない対応に迫られたから」「この状況で『登校したくない』と言われたら、それ以上は押せない」等、「理由」はあると思います。ただ、これまでの取り組みも含めて、人は集団の中で生きていくという視点や信念が足りず、個の問題に帰した対応に終始し、支援が功を奏しないと悔やんでいる部分が、我々の中にないでしょうか。そして、子ども達から「小さな親切、大きなお世話」とため息をつかれているのに気づいたり、あるいはそれさえも気づいていないということはないでしょうか。

今回は、不登校を個人の内的な問題ではなく関係性への問いであると捉え、学習会を進めたいのです。たとえば、我々自身の「子どもの問題の原因を探って指導を入れるか、子ども達の未来を育むために共に歩むか」と言った考え方の比重の違いは、我々の「まなざし」の差異となって現れ、それが支援に大きく関わっていると思うのです。我々自身が知らぬうちに子ども達に向けている「まなざし」を自覚し、必要ならばそれを変えることができれば、子ども達の成長を応援できる可能性が増すと思うのです。

今回の学習会は、不登校に関する権威の「ご託宣」をうかがう研修ではなく、永く不登校と向き合ってきた仲間の実践を中心に、「教員のまなざし」について互いに学びあう機会としてオンライン学習会を開催します。

我々は気さくな会ですが、「参加した限りは黙ってないで、一言は発言する」覚悟で臨んでください。(文責:米田)

記

1 日時 **2020年11月7日(土) 9:30~11:30**

2 形式 **ZOOM を用いたオンライン学習会** (Zoom の使い方のレクチャーは行いません)

3 内容 (1) 企画説明 米田薫(大阪成蹊大学 教授、当協会会長、上級教育カウンセラー)

(2) 問題提起と実践発表 大阪教育カウンセラー協会の実践者の皆さん

① 米澤弘子(大阪府内義務教育学校保護者)

「ステークホルダーである保護者の立場から学校の不登校への取り組みに対して感じること」

② 藤田優子(三重県伊賀市立崇広中学校)

「個への関りと、子どもたちをつなぐクラスを育てることをめざして」

③ 有吉大和(大阪府立大阪わかば高等学校)

「一次支援、二次支援、三次支援でヘトヘトだけど、生徒の頑張りに支えられて」

④ 田村時恵(大阪府高槻市立第四中学校)

「子どもと話し合っって『一人であること』と『集団と徐々に触れ合うこと』を実践する別室登校(仮題)」

⑤ 田場千鶴(奈良県五條市教育委員会)

「子どもの『今』を受け入れ『未来』へともに歩いていく適応指導教室での支援」

⑥ 柳井智美(大阪府高槻市教育センター)

「先生や保護者の在りたい姿をともに考えるカウンセラーとして」

(3) 参加者交流(グループ交流→全体交流)

4 参加費 無料

5 定員 30名程度(教育カウンセリングに関心のある方)

6 申込 申込期限:2020年11月3日(火) 23:59まで

申込方法:大阪教育カウンセラー協会 HP のメールフォーム、または Mail にて。

お申し込み後にメールにてミーティング ID や PASS をお知らせします。

<申し込み・問い合わせ先>

申込ページQRコード↓

大阪教育カウンセラー協会 事務局 研修担当

申込メールフォーム: <https://jecaosaka.org/info/200828studygroup>

TEL: 050-3557-1324 (留守録対応) Mail: jim19@jecaosaka.org

FAX: 020-4663-7974

HP: <https://jecaosaka.org>